

危機管理投資国家： 日本の戦略的変容

Japan's Strategic Pivot 2026

日付: 2026年2月

文脈: 世界経済フォーラム (Davos) 「Japan Navigates Uncertainty」セッションに基づく分析

主題: 高市政権下の「技術主権」「地政学的再編」
「社会OS再設計」に関する包括的レポート

CONFIDENTIAL / 2026



現状分析：2026年2月、ダボス会議が目撃した日本の決断

POLITICAL CONTEXT

2026年1月23日、高市早苗首相は衆議院を解散。これは単なる選挙戦ではなく、戦後日本の経済・外交哲学の転換を問う「信任投票」である。



テレビ東京共催セッションにて、片山さつき財務大臣、NEC森田会長らが「失われた30年」との決別を宣言。

STRATEGIC PILLARS



技術的主権 (Tech Sovereignty):
Rapidus & Physical AI



地政学的再編
(Geopolitical Realignment):
Pax Silica & FORGE



社会OS再設計
(Social OS Redesign):
育成就労 & Web3

パラダイムシフト：コストカット型経済から「危機管理投資」へ

旧モデル (OLD MODEL)

コンセプト：財政規律一辺倒

マインド：デフレ心理 / 縮小均衡

結果：失われた30年

新モデル (NEW MODEL)

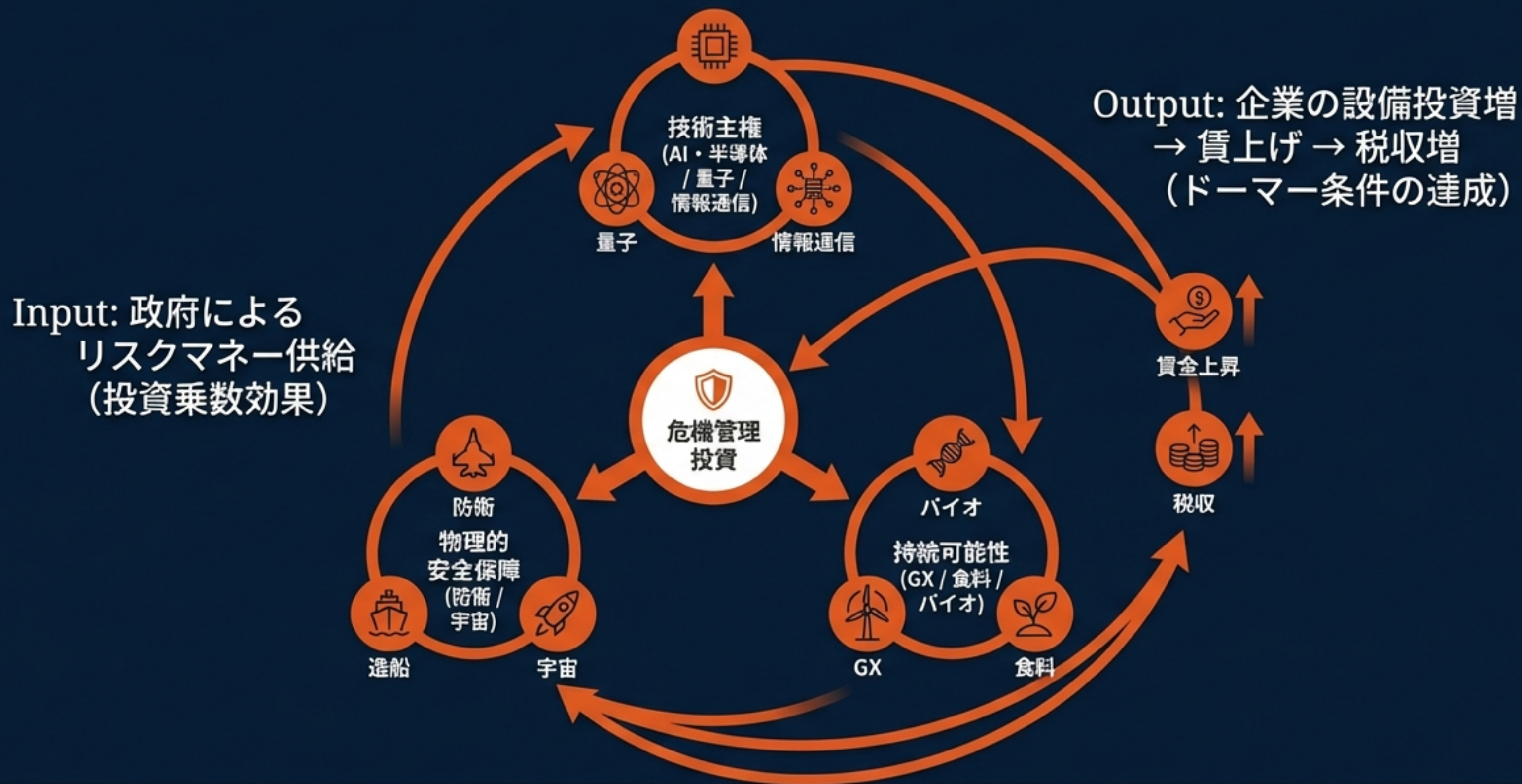
コンセプト：責任ある積極財政

マインド：安全保障 = 経済

アクション：国家存立のための
戦略的投資

「財政規律一辺倒は、もはや国家の存立を
脅かす安全保障上のリスクである」

経済モデル：「責任ある積極財政」が描く好循環



戦略17分野：市場原理を超えた「国家機能」の定義

技術主権	AI・半導体	量子	バイオ・合成生物学
物理的安全保障	造船・海事 (有事の生命線)	航空・宇宙	防衛産業
資源・持続可能性	エネルギー・GX	食料安全保障	重要鉱物
社会基盤	港湾物流	創薬	防災



Spotlight:

単なるビジネスではなく、台湾有事を想定した海上輸送の生命線として再定義。

次世代半導体：Rapidusへの「黄金株」と国家ガバナンス



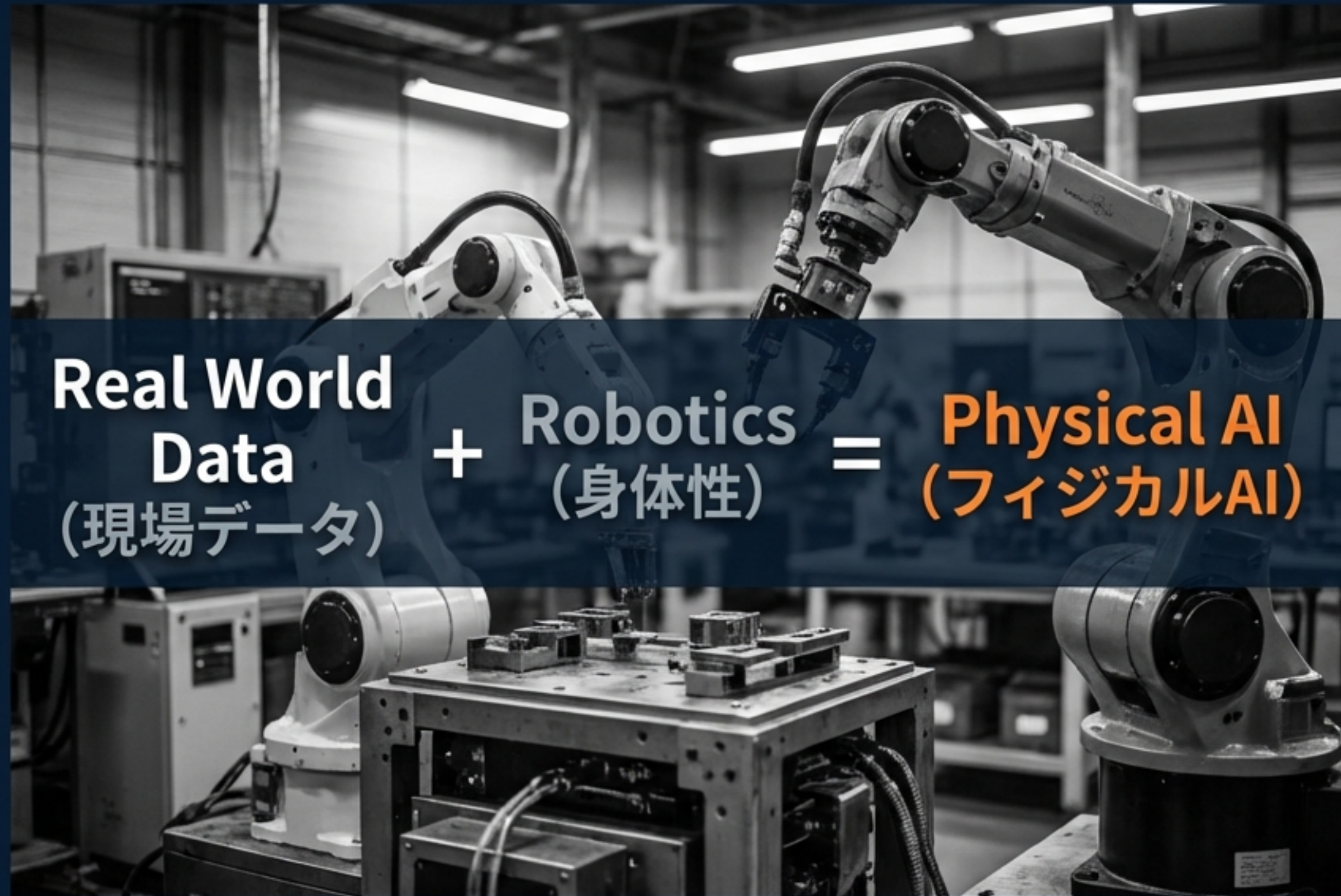
進捗状況 (Progress):

- 拠点: 北海道千歳 (IIM-1)
- マイルストーン: 2025年7月、最初の2nm試作「Soul Lot」にて電気特性を確認済。

ガバナンス革新 (Governance):

- 措置: 2026年初頭、政府による「黄金株」導入。
- 目的: 半導体を「公共インフラ」と定義し、M&A拒否権を通じて技術流出を構造的に遮断。
- 教訓: 「日の丸半導体」の失敗（ガバナンス不在）を繰り返さない。

AI戦略：LLMの正面衝突を避け、「フィジカルAI」で勝つ



**Real World
Data**
(現場データ)

+

Robotics
(身体性)

=

Physical AI
(フィジカルAI)

Global Context:

米中がLLM（計算資源）を独占。正面突破は困難。

Japan's Niche:

インターネット上に存在しない良質な現場データとロボティクスの融合。

Policy Support: Noto Sans JP Bold

戦略分野国内生産促進税制 & 研究開発税制（40-50% 控除）による強力な誘導。

2025-2027 ロードマップ：実行とガバナンスの同期

Current Status: Feb 2026



2026年はプロトタイプと量産の谷を越えるための「実行」の年。

Pax Silica : AI・半導体供給網の要塞化



定義: 米国主導の排他的経済ブロック
(2025年12月発足)

日本の役割:
素材(ウェハー/レジスト)・製造装置の供給
+ Rapidusによるハイエンド製造。

Trade-off (トレードオフ):
- **Gain:** 米国市場への優先アクセス
- **Cost:** 対中デカップリングの制度化
(技術移転の厳格な制限 / 踏み絵)

FORGE：重要鉱物の価格破壊に対する防衛線

イニシアティブ: **FORGE** (Forum on Resource Geostategic Engagement) - 2026年2月発足

脅威: **中国によるダンピング攻勢** (価格破壊 による競合鉱山の破綻)

対抗策: **公正市場価格での買取義務化。**

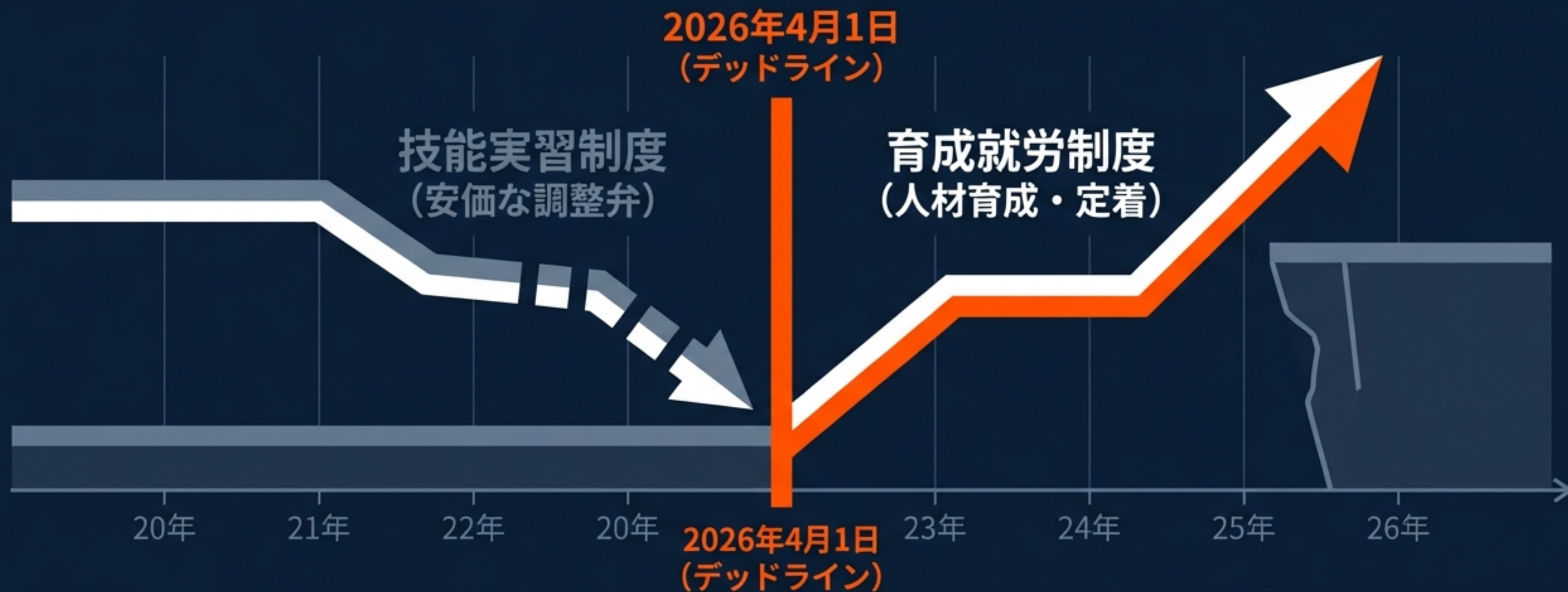
地政学: **インド** (Global South) の参画によるサプライチェーンの確保。



新世界地図：分断される経済と日本の立ち位置



労働市場改革：「安価な労働力」の終焉と2026年の崖



- **2026年の崖:** 新制度(2027開始)への移行には1年以上の実績が必要。2026年4月までに活動開始が必須。
- **Impact:** 駆け込み申請の殺到と、間に合わない人材の帰国リスク。現場の混乱。

人材戦略：Web3と女性活躍の新たなフロンティア

Noto Sans JP

Web3 / FinTech

Noto Serif JP

- 金融庁「暗号資産・ステーブルコイン課」新設 (2026)。
- JPYCとCircle社の提携による「Stable FX」の実用化。



Noto Sans JP

Women's Empowerment (新・女性活躍)

Noto Serif JP

- オールド・ボーイズ・ネットワークの存在しない新領域(Web3/FinTech)への女性人材誘導。
- リスキリングによる高付加価値キャリアへの転換。



リスク分析：成長の代償とトレードオフ

分野	主要トレンド	リスク要因
経済	主要トレンド: 成長軌道への転換 名目GDPが4兆ドルを突破し、賃金は 2年連続で5%超の上昇を記録。	国債利払い費 13兆円へ急増。財政持続可能性の懸念。
テクノロジー	主要トレンド: 次世代半導体の確立 ラピダスが2nm世代のGAAトランジスタ試作に成功。2027年の量産に向けたロードマップが順調に進行中。	2027年量産への実行リスク。
地政学	主要トレンド: 同盟強化とサプライチェーン G7および「Pax Silica」を通じたサプライチェーンの強靱化が進展。	中国との構造的な緊張、経済報復。
社会	主要トレンド: 労働政策の大転換 従来の技能実習制度に代わり、人材育成と確保を目的とした新制度「育成就労」が2027年より開始される。	移民受入への社会的抵抗とインフラ整備の遅れ。

結論：2026年の審判

覚悟 (RESOLVE)

1. Speed: 異次元の意思決定スピード (黄金株・FORGE)
2. No Sanctuaries: 聖域なき構造改革 (移民・脱中国)
3. Bet on Tech: フィジカルAIという生存戦略

日本は羅針盤を手に入れた。総選挙は、この険しい航路への「信任」を問う最終投票となる。